

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	次年度以降取組予定
重層支援 コーディネーター	①多機関協働事業者 と連携する取組	<p>■地域福祉市民フォーラム等市民向けイベントや関係機関向けの研修を開催し、地域福祉の周知、事業推進に係る意識共有を行う。</p> <p>目標：市民向けの取組みを2回、関係機関向けの研修を3回開催。</p>		
	②CSW、参加支援 コーディネーターとの 連携	<p>■研修や意見交換会を定期的に行い、重層事業における実施体制や課題等の共有を行う。</p> <p>目標：研修を年5回、意見交換会を年5回開催。</p>		
	③重点取組	<p>■関係機関が重層事業を活用するイメージやメリットが湧くよう、重層プレミヤクミヤク会議等で把握した対象者へアウトリーチ等を通じた継続的支援による働きかけや、参加支援事業の活用を見据えた社会資源の把握に力を入れる。</p> <p>目標：支援の好事例や社会資源の情報共有を、地域課題と絡めてチラシ等で見える化し関係機関に共有する。</p> <p>■不登校児童の居場所拡充および市民への啓発。</p> <p>目標：市民向けの啓発フォーラムを年1回開催。不登校児童の居場所であるフリースペース「ゆるつな」の運営をサポートする。当事者団体と連携し、地域で啓発講座を年10回開催。</p> <p>■若者の孤独孤立対策。</p> <p>目標：受援力を高める福祉教育プログラムを開発し、1校で試験的に実施する。</p> <p>■他市の重層支援体制整備事業の体制を確認し、取り組みの経緯や効果等実態を調査する。</p> <p>目標：他市の取り組みを年間3件調査。</p>		
	市評価	<p>重層支援コーディネーターは、重層的支援体制整備事業業務の中核となる役割のため、市と密な連携を図り、参加支援コーディネーターやコミュニティーソーシャルワーカーへ働きかけ、全体をコーディネートすることを期待します。また、同事業の目的を達成するために、制度の枠にとらわれない活動や事業展開を進めることを期待します。あわせて個別支援においては、アウトリーチ等を通じて継続的支援による関係性構築の働きかけ等支援が届いていない人を受け止めることが求められています。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後、市が記入してフィードバックします。</p>	

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	自己評価	課題・次年度以降取組予定
参加支援 コーディネーター	①関係機関、地域団体等との連携、社会資源の開拓	<p>■教育分野及び一般企業に働きかけ、社会資源の発掘やニーズを把握する。 他市の参加支援事業の体制を確認し、取組の経緯や効果等実態を調査する。</p> <p>目標：年間3団体を訪問。他市の取り組み事例を10件調査。</p>			
	②個別支援 (参加支援事業対象者、対象者となりうる人への支援)	<p>■重層ミヤクミヤク会議のケースに対して、参加支援事業の利用が必要な場合、対象者に働きかけ地域資源とのマッチングを行う。</p> <p>目標：参加支援事業対象者のうち10%以上を、評価シートの達成状況が「目標を達成した」となるよう支援する。</p>			
	③ボランティア活動の推進	<p>■継続的な実施につながるコーディネートに努め、活動における課題を把握する。</p> <p>目標：上半期の実績をもとに、下半期にて効果検証し、課題への対応を行う。</p> <p>■講座等を通してボランティア活動の担い手を養成する他、イベント等を通じてボランティア活動の魅力を発信する。</p> <p>目標：各種ボランティア講座を年間6回開催する。イベントでの周知を随時行う。</p>	<p>ボランティア依頼相談 件</p> <p>ボランティア活動希望相談 件</p>		
	市評価	<p>福祉分野に限らず、まちづくりや教育、企業の社会貢献活動も広がっており、地縁を基盤とした組織だけでなく、個人が自分の意思により、参加したいと思えるような多様なグループとの出会いや、つながる場づくりに取り組んでいく必要があります。その際、地域生活課題の広がりや市民の関心の多様化を踏まえ、あらゆる分野の関係者と連携・協働することが求められているため、福祉分野の枠にとらわれない社会資源の発掘やニーズ把握を期待します。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後、市が記入してフィードバックします。</p>	<p>【自己評価】欄について A: 目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B: 目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる C: 目標達成に向けた取組があまり進んでいない D: 目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手</p>	

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	自己評価	地域課題・次年度以降取組予定
CSW (JR以南ブロック)	①アウトリーチ等を通じた継続的支援、個別相談支援	<p>■地区ごとや世代ごとに課題の種類や効果的な関わり方を分析する。</p> <p>目標：上半期の実績をもとに効果的な支援方法の検証に取組む。</p>			
	②関係機関、地域団体等との連携	<p>■地域包括支援センター等とお互いの役割を整理し、相互の連携を深める。</p> <p>目標：CSWの役割を整理し、見える化を図る。また、地域包括支援センター等と協議の場を持ち、相互の役割を確認する。</p>			
	③組織支援 (住民活動のコーディネート等)	<p>■吹一、吹三、吹六、東地区福祉委員会にて多世代への支援の意識付けが行えるようサポートする。介護フェア等を通じて、学生世代や若年層、福祉事業所に地域福祉を身近に感じてもらえるような取組を行う。</p> <p>自治会や任意の団体等が取り組む活動に対し、必要に応じて活動の支援や情報提供等を行う。</p> <p>目標：年間3団体の地域活動をコーディネートする。</p>			
	市評価	<p>日々の地域活動をコーディネートしている立場から、サロンや昼食会の活動においても関係者に積極的に働きかけ、地域の実情を把握し、主体的にケースを見つけ、重層支援コーディネーターにつながる姿勢が求められます。また、自発的に援助を求めようとする対象者に対しては、支援者側から働きかけるアウトリーチの機能が有用であり、CSWの個別相談支援の機能には期待しています。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後。市が記入してフィードバックします。</p>	<p>【自己評価】欄について A：目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B：目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる C：目標達成に向けた取組があまり進んでいない D：目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手</p>	

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	自己評価	地域課題・次年度以降取組予定
CSW (片山岸部ブロック)	①アウトリーチ等を通じた継続的支援、個別相談支援	<p>■地区ごとや世代ごとに課題の種類や効果的な関わり方を分析する。</p> <p>目標：上半期の実績をもとに効果的な支援方法の検証に取組む。</p>			
	②関係機関、地域団体等との連携	<p>■地域包括支援センター等とお互いの役割を整理し、相互の連携を深める。</p> <p>目標：CSWの役割を整理し、見える化を図る。また、地域包括支援センター等と協議の場を持ち、相互の役割を確認する。</p>			
	③組織支援 (住民活動のコーディネート等)	<p>■山手、片山、千一、岸部地区福祉委員会にて多世代への支援の意識付けが行えるようサポートする。スマホ講座等を通じて、学生世代や若年層、福祉事業所に地域福祉を身近に感じてもらえるような取組を行う。</p> <p>自治会や任意の団体等が取り組む活動に対し、必要に応じて活動の支援や情報提供等を行う。</p> <p>目標：年間4団体の地域活動をコーディネートする。</p>			
	市評価	<p>日々の地域活動をコーディネートしている立場から、サロンや昼食会の活動においても関係者に積極的に働きかけ、地域の実情を把握し、主体的にケースを見つけ、重層支援コーディネーターにつながる姿勢が求められます。また、自発的に援助を求めようとする対象者に対しては、支援者側から働きかけるアウトリーチの機能が有用であり、CSWの個別相談支援の機能には期待しています。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後、市が記入してフィードバックします。</p>	<p>【自己評価】欄について A：目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B：目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる C：目標達成に向けた取組があまり進んでいない D：目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手</p>	

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	自己評価	地域課題・次年度以降取組予定
CSW (豊津・江坂・南吹田 ブロック)	①アウトリーチ等を通じた継続的支援、個別相談支援	<p>■地区ごとや世代ごとに課題の種類や効果的な関わり方を分析する。</p> <p>目標：上半期の実績をもとに効果的な支援方法の検証に取り組む。</p>			
	②関係機関、地域団体等との連携	<p>■地域包括支援センター等とお互いの役割を整理し、相互の連携を深める。</p> <p>目標：CSWの役割を整理し、見える化を図る。また、地域包括支援センター等と協議の場を持ち、相互の役割を確認する。</p>			
	③組織支援 (住民活動のコーディネート等)	<p>■吹二、吹南、豊一、豊津西地区福祉委員会にて多世代への支援の意識付けが行えるようサポートする。</p> <p>スマホ講座等を通じて、学生世代や若年層、福祉事業所に地域福祉を身近に感じてもらえるような取組を行う。</p> <p>自治会や任意の団体等が取り組む活動に対し、必要に応じて活動の支援や情報提供等を行う。</p> <p>目標：年間5団体の地域活動をコーディネートする。</p>			
	市評価	<p>日々の地域活動をコーディネートしている立場から、サロンや昼食会の活動においても関係者に積極的に働きかけ、地域の実情を把握し、主体的にケースを見つけ、重層支援コーディネーターにつなぐ姿勢が求められます。また、自発的に援助を求めようとする対象者に対しては、支援者側から働きかけるアウトリーチの機能が有用であり、CSWの個別相談支援の機能には期待しています。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後、市が記入してフィードバックします。</p>	<p>【自己評価】欄について A：目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B：目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる C：目標達成に向けた取組があまり進んでいない D：目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手</p>	

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	自己評価	地域課題・次年度以降取組予定
CSW (千里山・佐井寺ブロック)	①アウトリーチ等を通じた継続的支援、個別相談支援	<p>■地区ごとや世代ごとに課題の種類や効果的な関わり方を分析する。</p> <p>目標：上半期の実績をもとに効果的な支援方法の検証に取り組む。</p>			
	②関係機関、地域団体等との連携	<p>■地域包括支援センター等とお互いの役割を整理し、相互の連携を深める。</p> <p>目標：CSWの役割を整理し、見える化を図る。また、地域包括支援センター等と協議の場を持ち、相互の役割を確認する。</p> <p>■災害に備えたネットワークづくりを進める。</p> <p>目標：災害をテーマとした協議やネットワーク会議等を主催または参画する。</p>			
	③組織支援 (住民活動のコーディネート等)	<p>■佐井寺、千二、千三、千里新田地区福祉委員会にて多世代への支援の意識付けが行えるようサポートする。</p> <p>スマホ講座等を通じて、学生世代や若年層、福祉事業所に地域福祉を身近に感じてもらえるような取組を行う。</p> <p>自治会や任意の団体等が取り組む活動に対し、必要に応じて活動の支援や情報提供等を行う。</p> <p>目標：年間4団体の地域活動をコーディネートする。</p>			
	市評価	<p>日々の地域活動をコーディネートしている立場から、サロンや昼食会の活動においても関係者に積極的に働きかけ、地域の実情を把握し、主体的にケースを見つけ、重層支援コーディネーターにつながる姿勢が求められます。また、自発的に援助を求めようとする対象者に対しては、支援者側から働きかけるアウトリーチの機能が有用であり、CSWの個別相談支援の機能には期待しています。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後。市が記入してフィードバックします。</p>	<p>【自己評価】欄について A：目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B：目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる C：目標達成に向けた取組があまり進んでいない D：目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手</p>	

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	自己評価	地域課題・次年度以降取組予定
CSW (山田・千里丘ブロック)	①アウトリーチ等を通じた継続的支援、個別相談支援	<p>■地区ごとや世代ごとに課題の種類や効果的な関わり方を分析する。</p> <p>目標:上半期の実績をもとに効果的な支援方法の検証に取組む。</p>			
	②関係機関、地域団体等との連携	<p>■地域包括支援センター等とお互いの役割を整理し、相互の連携を深める。</p> <p>目標:CSWの役割を整理し、見える化を図る。また、地域包括支援センター等と協議の場を持ち、相互の役割を確認する。</p> <p>■災害に備えたネットワークづくりを進める。</p> <p>目標:災害をテーマとした協議やネットワーク会議等を主催または参画する。社協主催で災害支援ネットワークを開催し、団体同士の顔の見える関係づくりや情報交換を行う。</p>			
	③組織支援 (住民活動のコーディネート等)	<p>■五月が丘、山一、南山田、東山田、西山田、北山田、山二、山三、山五地区福祉委員会にて多世代への支援の意識付けが行えるようサポートする。スマホ相談会等を通じて、学生世代や若年層、福祉事業所に地域福祉を身近に感じてもらえるような取組を行う。</p> <p>自治会や任意の団体等が取り組む活動に対し、必要に応じて活動の支援や情報提供等を行う。</p> <p>目標:年間4団体の地域活動をコーディネートする。</p>			
	市評価	<p>日々の地域活動をコーディネートしている立場から、サロンや昼食会の活動においても関係者に積極的に働きかけ、地域の実情を把握し、主体的にケースを見つけ、重層支援コーディネーターにつなぐ姿勢が求められます。また、自発的に援助を求めようとする対象者に対しては、支援者側から働きかけるアウトリーチの機能が有用であり、CSWの個別相談支援の機能には期待しています。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後、市が記入してフィードバックします。</p>	<p>【自己評価】欄について A:目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B:目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる C:目標達成に向けた取組があまり進んでいない D:目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手</p>	

実施計画評価シート

役割	業務内容	実施計画・目標	取組結果	自己評価	地域課題・次年度以降取組予定
CSW (千里ニュータウン ブロック)	①アウトリーチ等を通じた継続的支援、個別相談支援	<p>■地区ごとや世代ごとに課題の種類や効果的な関わり方を分析する。</p> <p>目標：上半期の実績をもとに効果的な支援方法の検証に取り組む。</p>			
	②関係機関、地域団体等との連携	<p>■地域包括支援センター等とお互いの役割を整理し、相互の連携を深める。</p> <p>目標：CSWの役割を整理し、見える化を図る。また、地域包括支援センター等と協議の場を持ち、相互の役割を確認する。</p>			
	③組織支援 (住民活動のコーディネート等)	<p>■佐竹台、高野台、桃山台、津雲台、竹見台、藤白台、古江台、青山台地区の福祉委員会にて多世代への支援の意識付けが行えるようサポートに努める。</p> <p>スマホ講座等を通じて学生世代に地域福祉を身近に感じてもらえるような取組を行う。 自治会や任意の団体等が取り組む活動に対し、必要に応じて活動の支援や情報提供等を行う。</p> <p>目標：年間4団体の地域活動をコーディネートする。</p>			
	市評価	<p>日々の地域活動をコーディネートしている立場から、サロンや昼食会の活動においても関係者に積極的に働きかけ、地域の実情を把握し、主体的にケースを見つけ、重層支援コーディネーターにつながる姿勢が求められます。また、自発的に援助を求めようとする対象者に対しては、支援者側から働きかけるアウトリーチの機能が有用であり、CSWの個別相談支援の機能には期待しています。</p>	<p>※年度末に「取組結果」「自己評価」「地域課題・次年度以降取組予定」欄を記入の上提出後、市が記入してフィードバックします。</p>		<p>【自己評価】欄について A：目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B：目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる C：目標達成に向けた取組があまり進んでいない D：目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手</p>